

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ④観光分野(5/7)

	評価区分 (※)	評価結果 (IとIIとIIIの平均値)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
奈良公園観光地域 活性化総合特区 (奈良県)	準	3.5	3.7 進捗度 ・奈良市の観光入込客数の増加 92% ・奈良市の宿泊者数の増加 93% ・奈良市の観光消費額の増加 77%	3.4 規制の特例等 ・地域活性化総合特別区域通訳案内士育成等事業 地域独自の取組 ・奈良の飲食店・宿泊施設育成支援資金利子補給金2件	3.5	<p>・全体的に関連事業との相乗効果、課題に対する柔軟な対応が窺える。地域独自の制度も多様で、特区通訳案内士も順調に育成できており評価できる。</p> <p>・今後、早急に特区通訳案内士の「活躍の場づくり」とそれを奈良観光のイメージアップにつなげる取り組みが必要。宿泊の必然性(例えば奈良の朝を売り出すなど)をどう作り上げるかなど、地域住民と一体となった取り組みに期待したい。</p> <p>・評価指標においては、入込客数など外的要因に左右される数値は適切ではなく、狭義の指標が必要。特区による直接的成果に留まらず、相乗効果も含めたサブ指標・定性評価を加える等指標設定を見直す必要がある。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)